

令和8年4月 市長記者会見 配布資料

発表要旨

期 日 令和8年4月 23 日(木)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

発表内容

- 1 佐渡市総合計画後期基本計画の策定について ……<総合政策課>
- 2 佐渡市ふるさと就職応援金事業について ……<地域産業振興課>
- 3 令和7年度佐渡市ふるさと納税寄附額の実績について ……<総合政策課>

【事前質問】

- ① 佐渡汽船からおけさ丸の新造船の建造の方針が示されました。改めて市長の所感をお聞かせください。
あわせて、輸送に係る燃料費が高騰している状況についても受け止めをお願いします。
(交通政策課)
- ② 令和7年度の出生数のデータがまとまっておりましたら、お聞かせください。
出生数の減少が続く中で、保育や教育環境の維持にどのような課題意識を持っていますか。
(総合政策課)
- ③ 県議会でも質問があったように「佐渡空港 滑走路 2,000m 化」に向けては 30 数年にわたり、目に見える進展がないようです。異例ですので、伺います。
佐渡市の空港担当者が「他の地権者の仮同意は得ている！」と、ここ2年間に複数の家屋移転対象者に対して説明したそうですが、事実でしょうか。
複数の地権者によりますと、該当する地権者約 140 人(現在)の仮同意とは「反当り数百万円(実際の金額は省略)を支払う」として両津地区秋津の観光ホテルを会場に平成5年8月に開いた地権者説明会のものについての仮同意であり、一転して「時価での用地補償」(現在は同数十万円見込み)を示す県と佐渡市の条件に仮同意はしていないとした批判の声が聞かれます。

振り出しに戻っているのに「他の地権者も同意しているから…」と家屋移転対象者に偽りを持ち掛けたとした不信の言葉は強いです。その上で、「新航空路促進協議会には約4,000万の予算があるから、家屋移転対象者には迷惑料(後日、解決金の名称変更)として支払えるね」との無責任発言を行い、さらに怒らせた者もいます。

「初代の市長以降、佐渡市側の対応に大きな問題、課題があった」との学識経験者と地権者の意見がありますので、どう思いかお話しください。(交通政策課)

- ④ 進展がみられない北朝鮮による拉致事件について、中国やインドなどへ精力的に訪れている渡辺市長ですので、「高市総理と一緒に同行して、北朝鮮へ早期に乗り込んでほしい」との要望が市民から聞かれます。

早期の事件解決を実現するための今後の考えを、お伺いします。(総務課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R8. 4. 23)

1 佐渡市総合計画後期基本計画の策定について

<概要>

- 「佐渡市総合計画」は、将来あるべき佐渡の姿と展望を市民の皆さまと共有し、長期的な方向性を定めた計画です。
- 令和4年度から令和13年度までの10年間の基本構想のうち、前半の5年間の基本計画が令和8年度で終了しますので、令和9年度からの後期5年間の基本計画を新たに策定します。
- 人口減少の進展や昨今の物価高騰等、社会情勢の変化もありますので、現状をあらためて分析し、人口減少社会に対応した持続可能な島・佐渡の実現に向けた計画として策定します。
- 策定にあたっては、幅広いご意見をいただきたいと考えており、市民・関係団体・学識経験者から構成される「佐渡市総合計画審議会」の開催を予定しているほか、子育て世代や高校生をはじめ、市民の皆さまや事業者へのアンケート調査、ワークショップ等も順次実施していきます。

2 佐渡市ふるさと就職応援金事業について

<概要>

- 市内で新たに働き始める若者をお祝いするため、「佐渡市ふるさと就職応援金」事業を開始します。
- 佐渡市では、佐渡を好きになり、将来も住みたいと思う子どもたちが1人でも多くなるような地域教育を進めており、その政策の一環として、初めての就職で佐渡を選んでくれた若者に対して、感謝とお祝いの気持ちを込めて1人10万円をお贈りします。
- 対象となる方は、市内の中学、高校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校を卒業した日に市内に住所を有していた方で、最終学歴の学校を卒業してから1年以内に市内企業へ初めて正規雇用された方です。卒業後1年以内に起業した方や農業・林業・漁業を始めた方も対象となります。申請手続きは就職から6か月経過した後、可能となります。

3 令和7年度佐渡市ふるさと納税寄附額の実績について

<概要>

- 令和7年度の寄附金額は9億5,502万2,204円で、前年度と比較すると6,300万円あまりの減となりました。(令和7年度の目標：12億円)
- 主な要因は、全国的にお米が余っている状況から他の自治体のお米の返礼品との競争が激化した結果、佐渡市の価格の高いお米を選んでいただけなかったためと考えており、加えて、お客さまへの情報発信、ポータルサイトの商品ページの訴求力の不足から前年度にご利用をいただいたリピーターの確保にも課題があったと認識しています。
- 一方で、全国的に人気の高い魚介類や交通事業者と連携した旅行商品等、寄附者のニーズの高い商品ラインナップの充実を図っており、これらは高い評価をいただいているものと考えています。
- 令和8年度は、ふるさと納税の情報発信や商品開発等を総合的に管理する民間事業者との連携を強化し、商品ページの再編や返礼品の充実に磨きをかけ、効果的なプロモーションに取り組むことで、佐渡市の魅力を全国に発信し、寄附額15億円の達成を目指します。

令和7年度人気カテゴリートップ5

	カテゴリー	寄附金額	前年比
1位	米	4億2,889万9,300円	85%
2位	旅行	1億2,608万9,000円	130%
3位	酒	1億42万1,800円	102%
4位	果物類	7,796万5,000円	119%
5位	魚介類	7,160万2,000円	145%

【事前質問】

- ① 佐渡汽船からおけさ丸の新造船の建造の方針が示されました。改めて市長の所感をお聞かせください。

あわせて、輸送に係る燃料費が高騰している状況についても受け止めをお願いします。

- ・ おけさ丸の新造船建造については、船の建造から30年を経過すると、維持管理費用が非常に高くなることから、一日でも早い新造船の計画を佐渡汽船の方で検討していたところですが、船台確保も難しく、また鋼材価格の高騰、さらには建造に3～4年かかることを鑑み、100億円と非常に高いコストになりますが、新造船の建造を進めていくと聞いています。
- ・ 今後、更なる物価高騰も想定され、また、船の塗料の問題などで船が出来ないということもニュース等で聞いているので、市としても状況を注視しながら、新造船の建造に向け、佐渡汽船と情報を共有し、取り組んでいきたいと考えています。
- ・ 国にも、離島航路における新しい造船への支援を改めて要望しているところですので、県と足並みをそろえて進めていきます。
- ・ 輸送に係る燃料費が高騰している状況については、国の緊急的激変緩和措置により、カーフェリーやジェットフォイルの燃料である重油・軽油も一定程度価格の上昇を抑えられています。一方、流通段階で目詰まりが発生しているため、必要量の確保に苦労していると佐渡汽船から聞いています。
- ・ 国では重要施設（医療・交通・公共サービス・農業・水産業・畜産業・重要物資の製造業等）向けに、元売が直接販売するなど、前年同月比同量を基本として販売するよう要請しているとのこと。

- ② 令和7年度の出生数のデータがまとまっておりましたら、お聞かせください。

出生数の減少が続く中で、保育や教育環境の維持にどのような課題意識を持っていますか。 【配布資料あり】

- ・ 令和7年度の出生数ですが、3月末時点での届出は144人となり、令和5年度からは年間の出生数が200人を割り込み、大変厳しい状況が続いていますが、県の統計からも、日本全体の状況として出生数は過去10年連続で減少しており、佐渡市を含め、全国の自治体において大きな課題になっています。
- ・ 出生数には、保育や教育環境だけでなく、結婚等の要素が大きく影響しますので、社会情勢を踏まえ、国全体で若者の結婚意欲向上や子どもが欲しいと思えるような意識醸成に

ついて議論していく必要があると考えています。

- ・ 保育や教育環境の維持については、保育園や学校施設の再編計画に基づいて統廃合を進めており、再編計画を踏まえながら現在の施設等を維持しつつ、保育については民間事業者のご協力もいただきながら取り組みを進めていくことが重要だと考えています。
- ・ 今後の出生数の状況によっては、再編計画の見直しが必要になりますが、佐渡は広いため、通園・通学の環境など、様々な要素を考慮しながら、お子さんを育てやすい島づくりに向けて議論を重ねていかなければならないと考えています。

③ 県議会でも質問があったように「佐渡空港 滑走路 2,000m 化」に向けては 30 数年にわたり、目に見える進展がないようです。異例ですので、伺います。

佐渡市の空港担当者が「他の地権者の仮同意は得ている！」と、ここ 2 年間に複数の家屋移転対象者に対して説明したそうですが、事実でしょうか。

複数の地権者によりますと、該当する地権者約 140 人(現在)の仮同意とは「反当り数百万円(実際の金額は省略)を支払う」として両津地区秋津の観光ホテルを会場に平成 5 年 8 月に開いた地権者説明会のものについての仮同意であり、一転して「時価での用地補償」(現在は同数十万円見込み)を示す県と佐渡市の条件に仮同意はしていないとした批判の声が聞かれます。

振り出しに戻っているのに「他の地権者も同意しているから…」と家屋移転対象者に偽りを持ち掛けたとした不信の言葉は強いです。その上で、「新航空路促進協議会には約 4,000 万の予算があるから、家屋移転対象者には迷惑料(後日、解決金の名称変更)として支払えるね」との無責任発言を行い、さらに怒らせた者もいます。

「初代の市長以降、佐渡市側の対応に大きな問題、課題があった」との学識経験者と地権者の意見がありますので、どう思いかお話しください。

- ・ 滑走路 2,000m 化に向けた地権者との調整状況については、およそ 9 割の方から同意書をいただいておりますが、同意書は、あくまでも空港に対する土地提供の意思を示すものであり、売買契約ではありません。
- ・ まずは、同意書をいただいたうえで、県において用地交渉を進めていくよう、今まで取り組んできたところです。
- ・ 過去の経緯については、発言すべきことではないため控えさせていただきます。
- ・ いずれにしましても、佐渡空港の滑走路 2,000m 化の実現に向けて、地権者交渉を最優先に進めます。

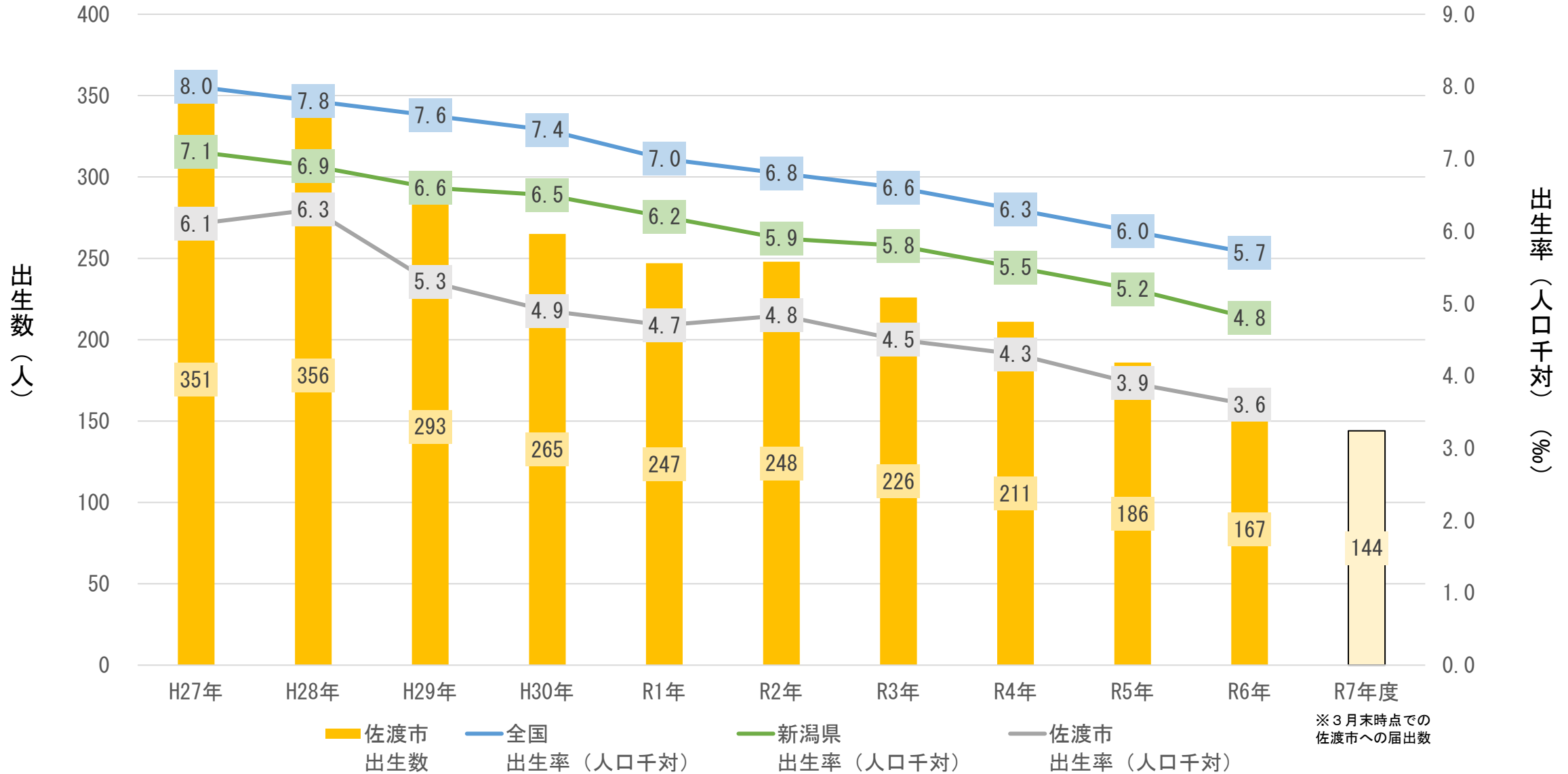
④ 進展がみられない北朝鮮による拉致事件について、中国やインドなどへ精力的に訪れている渡辺市長ですので、「高市総理と一緒に同行して、北朝鮮へ早期に乗り込んでほしい」との要望が市民から聞かれます。

早期の事件解決を実現するための今後の考えを、お伺いします。

- ・ 拉致問題の全面解決には、日朝首脳会談の早期実現が最重要課題と考えています。
- ・ 佐渡市としては、岸田元総理をはじめ歴代の拉致担当大臣とも面会しており、高市総理からも、「私の代で何としても突破口を開いて解決したい」と強い意欲を示していただいていますので、一步でも前進できるよう国への要望を継続して行っています。
- ・ あわせて、アメリカ大使館への訪問を継続し、連携して国際社会への情報発信も進めていきたいと考えています。
- ・ 拉致問題を風化させないために「曾我さん母娘を救う会」と連携し、市民の皆さまへの積極的な啓発活動を継続して行っています。

全国、新潟県、佐渡市の出生率の推移比較

出典：新潟県福祉保健年報
 ※令和7年度出生数については佐渡市調べ



※3月末時点での佐渡市への届出数

【用語解説】

「人口千対」とは、1,000人の人口集団の中での発生比率。出生率（人口千対）では、人口1,000人あたりで、どのくらいの方が出生したかを表す。単位は‰（パーミル）。出生率 = 年間出生数 / 10月1日現在人口 × 1,000（新潟県福祉保健年報・凡例より）